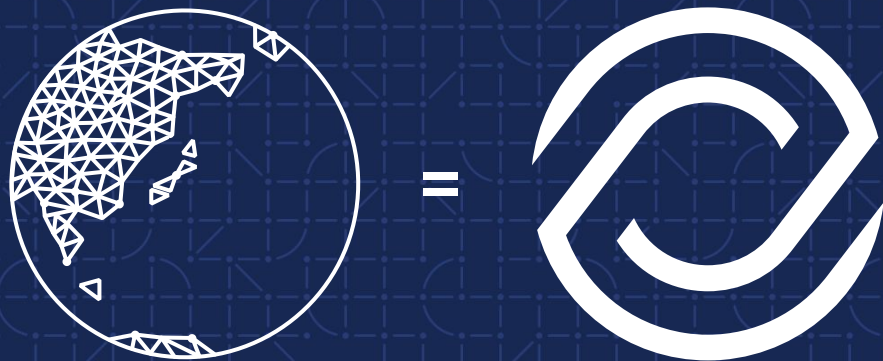




2022年12月期 第2四半期

決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE SECOND QUARTER 2022



GAIA X IS A RESPONSIBILITY-DRIVEN COMMUNITY THAT EMPOWERS PEOPLE TO CONNECT

ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

当社事業概要



2022年12月期 第2四半期 ハイライト



出資先である株式会社巻組との共同事業、
日本初のDAO型シェアハウス「Roopt神楽坂 DAO」入居者募集を開始

ブロックチェーン技術により実現されるDAO (Decentralized Autonomous Organization、分散型自立組織) は、当社の注力するシェアリングエコノミー領域との親和性が高いと判断。



DAO立ち上げ支援コンサルティングサービスをスタート

「Roopt神楽坂 DAO」を始めとし、DAOの立ち上げ支援コンサルティングサービスをスタート。2022年末までに20以上のDAO支援実施を目指す。

2022年12月期 第2四半期 出資先動向



《出資先》導入社数 No.1のeKYCを提供する株式会社 TRUSTDOCK
2022年5月、全国銀行協会の本人開示請求手続をオンライン化

全国銀行協会が運営する全国銀行個人信用情報センター（KSC）のおこなう個人信用情報の本人開示において、TRUSTDOCK社のeKYCサービスを活用したオンライン開示サービスが開始。



《出資先》画像・動画・音楽の素材サイトを提供するピクスタ株式会社
2022年5月、法人向け撮影サービス「PIXTAオンデマンド」利用企業が500社突破

2020年6月のサービス開始から利用企業が500社を突破。
fotowa事業、Snapmart事業とともに年30%以上※のペースで成長。

※ 2021年度実績に基づく。

2022年12月期 第2四半期 出資先動向



《出資先》プログラミング学習プラットフォーム提供の株式会社テックピット
2022年6月、プレシリーズAラウンドで7,500万円を資金調達

ユナイテッド株式会社、株式会社セゾン・ベンチャーズ、株式会社カオナビ等が引受先として
名を連ねる。

今回の資金調達により、ITエンジニアのリスキリングに特化した戦略的人材リスキリング
SaaS「Techpit for Enterprise」の開発、マーケティング、人材採用を強化。



《出資先》住まいのサブスク「ADDRESS」を運営する株式会社アドレス
2022年6月、多拠点生活のための新たな料金プランを開設

お試し利用の1ヶ月限定「おためしプラン」と、自宅解約したアドレスホッパー向けに31日分の
予約権利が付与される「たっぷりプラン」の2つのサービスプランを提供開始。さらに、家タイプ
の新しいジャンル「キャンプサイト」を7月上旬から予約受付開始。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

2022年12月期 第2四半期 振り返り

連結業績

売上高: 1,386百万円
営業損益: 73百万円

前年同期比: 54.1%増

ソーシャルメディアサービス事業

売上高: 864百万円
営業損益: 174百万円

前年同期比: 20.6%増
前年同期比: 11.5%増

インキュベーション事業

売上高: 537百万円
営業損益: 66百万円

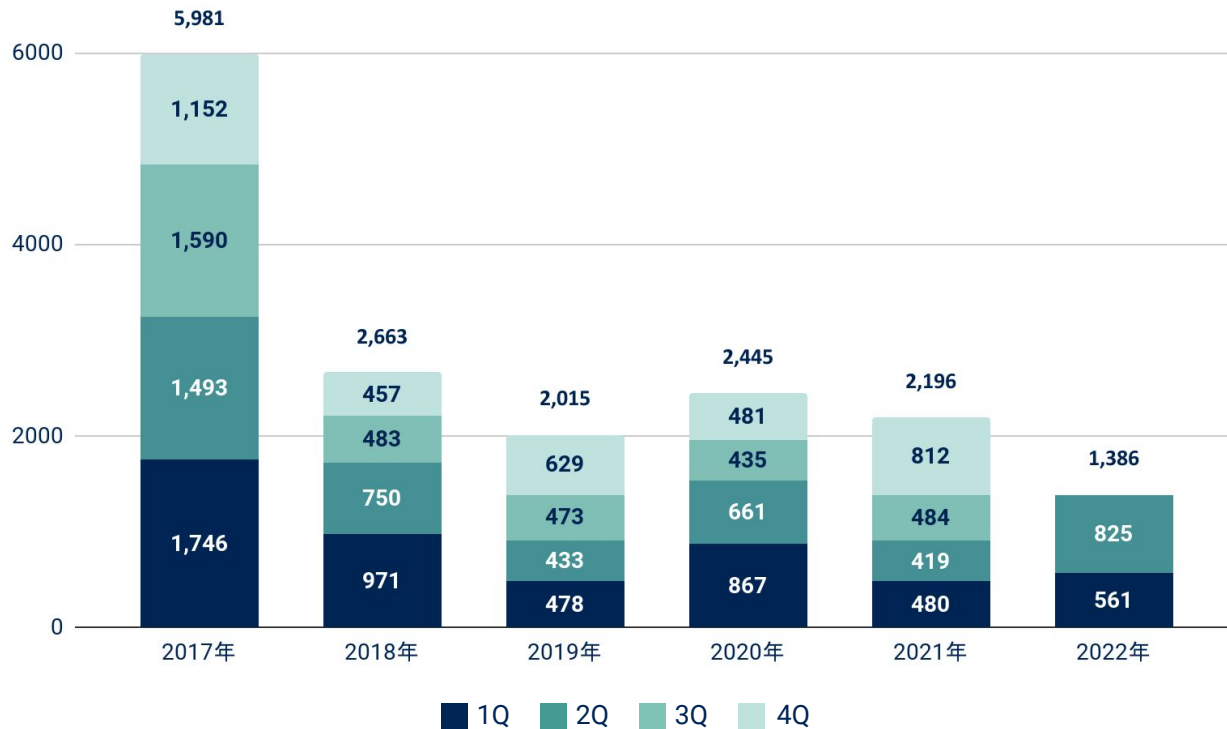
前年同期比: 186.6%増

連結売上高の推移

営業投資有価証券の売却により、売上が伸長

株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

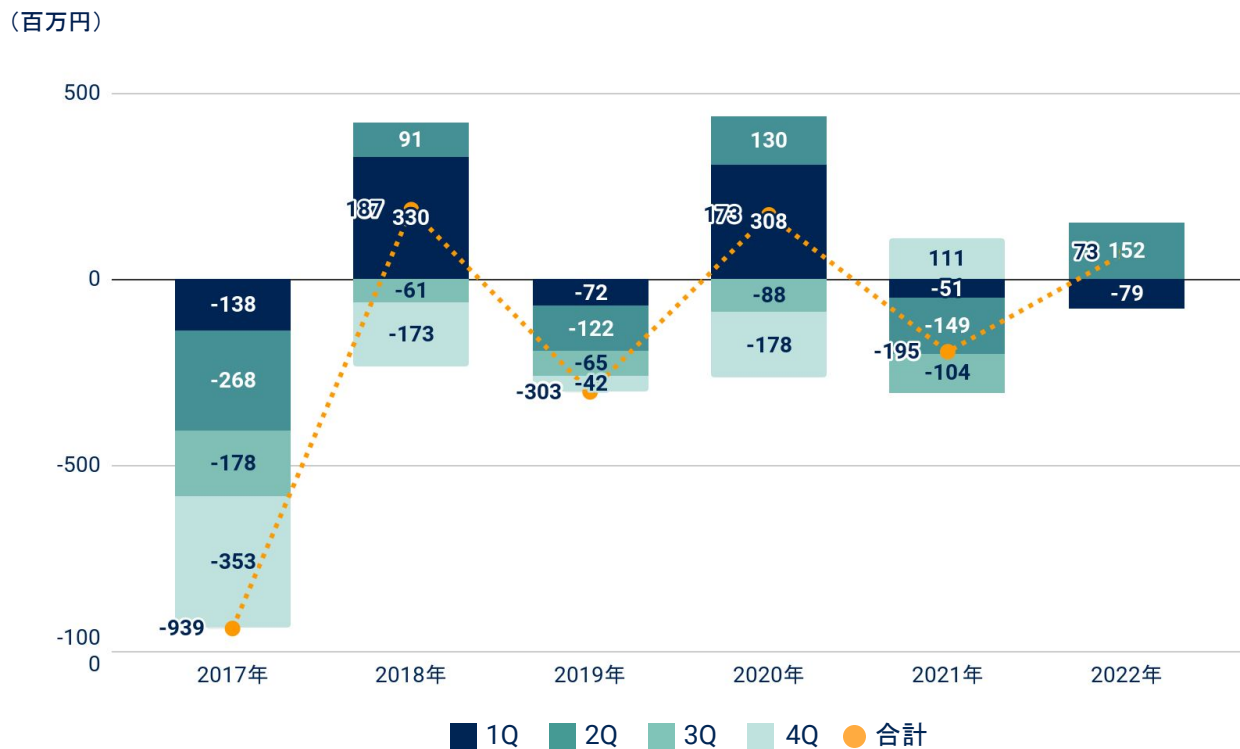
(百万円)



連結営業損益の推移

新規事業育成のため
販管費は引き続き増加傾向

株式会社電縁およびその子会社は
2017年11月に、アディッシュ株式会社
およびその子会社は2018年1月に、
EDGE株式会社は2021年1月に連結除外と
なっております。



2022年12月期 第2四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

2021年12月期第2四半期は、営業投資
有価証券の売却により売上高318百万円、
営業利益314百万円を計上

単位:百万円	2021年12月期 第2四半期	2022年12月期 第2四半期	YoY	2022年12月期 第1四半期	2022年12月期 第2四半期	QoQ
売上高	419	825	+96.8%	561	825	+47.1%
売上総利益	239	604	+152.8%	354	604	+70.5%
販売費及び一般管理費	389	452	+16.3%	434	452	+4.3%
営業損益	△ 149	152	-	△ 79	152	-
経常損益	△ 148	172	-	△ 69	172	-
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 142	177	-	△ 66	177	-

2022年12月期 第2四半期 連結B/S

上場している営業投資
有価証券の時価下落が
影響

単位:百万円		2021年12末	2022年6末	増減
流動資産		2,390	2,180	△ 209
	現預金	768	832	+ 63
	受取手形・売掛金	231	226	△ 4
	営業投資有価証券	1,338	1,045	△ 292
	その他	56	79	+ 23
	貸倒引当金	△ 3	△ 3	0
固定資産		292	268	△ 23
	有形固定資産	85	81	△ 3
	無形固定資産	148	131	△ 16
	投資その他の資産	59	56	△ 3
総資産		2,682	2,449	△ 233

流動負債		422	397	△ 25
	支払手形・買掛金	51	47	△ 3
	短期・1年内返済長期借入金	62	61	△ 1
	その他	308	287	△ 20
固定負債		500	382	△ 118
	長期借入金	109	77	△ 32
	繰延税金負債	364	268	△ 95
	リース債務	9	8	0
	その他	17	27	+ 10
純資産		1,759	1,669	△ 89
	株主資本	890	1,000	+ 110
	その他の包括利益累計額	813	623	△ 189
	新株予約権	37	37	0
	非支配株主持分	18	7	△ 10
負債純資産合計		2,682	2,449	△ 233

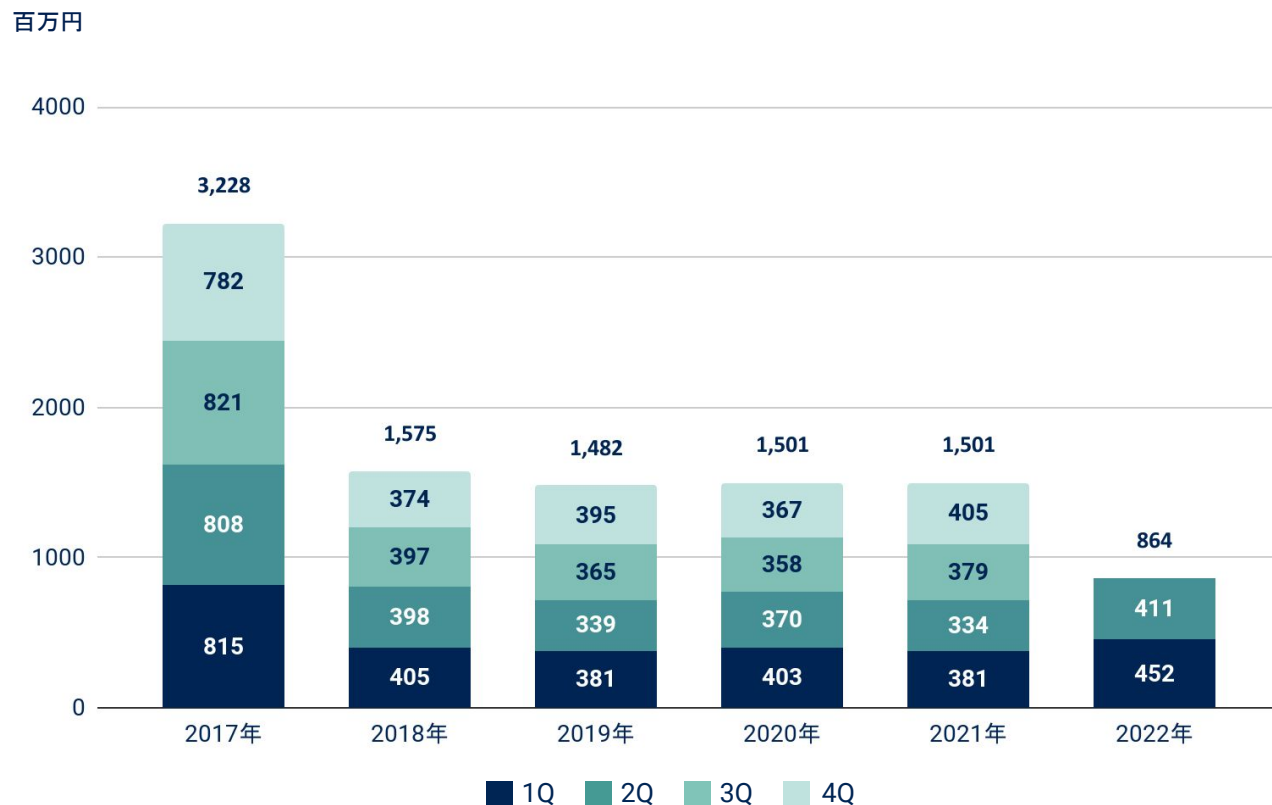
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

SNSマーケティング支援の受
注増により売上高増加

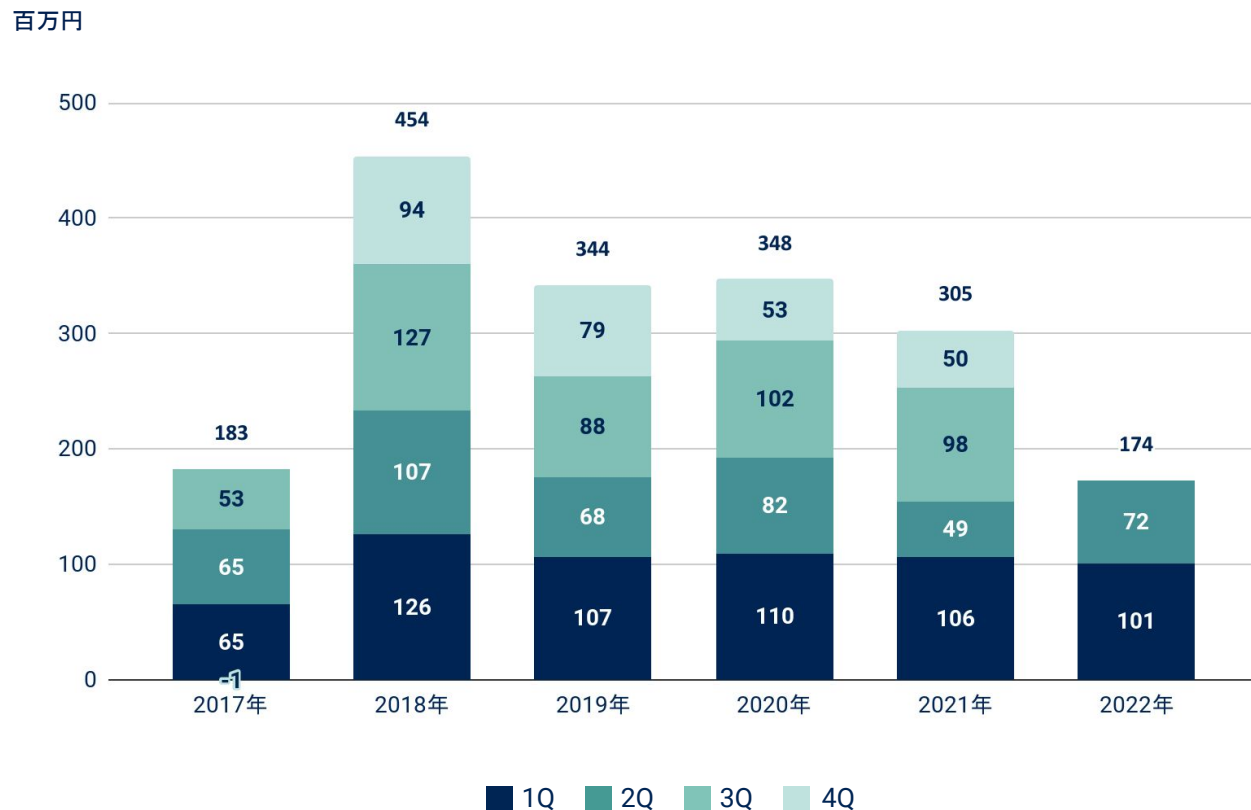
アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

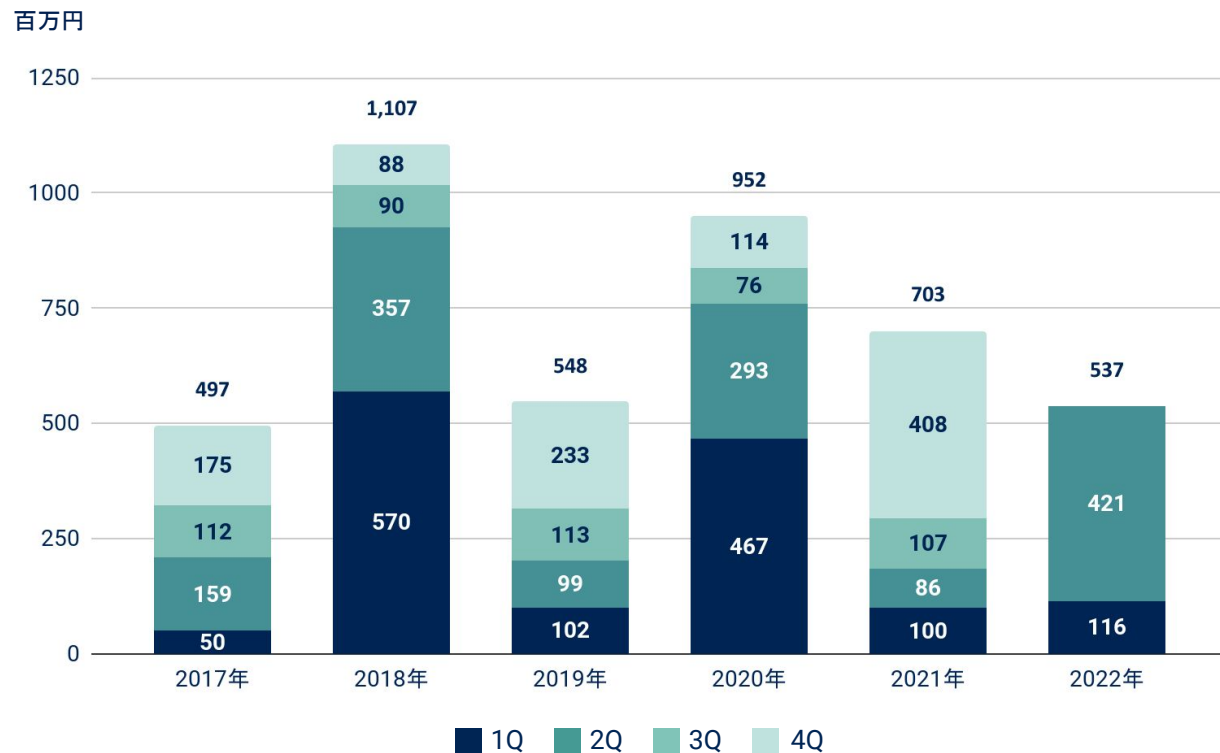
事業成長に向けた積極投資を継続中も、前年同期比で利益が増加

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



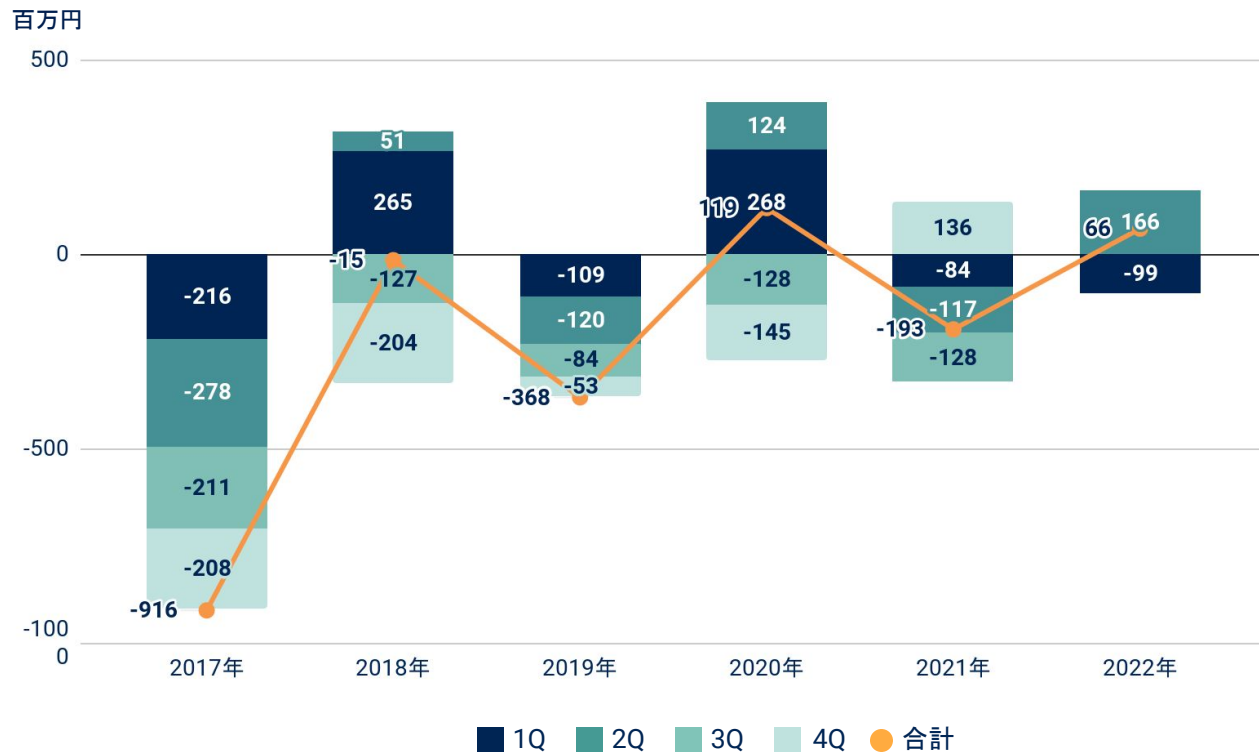
インキュベーション事業 連結売上高の推移

営業投資有価証券の売却により、売上高318百万円を計上



インキュベーション事業 連結営業利益の推移

営業投資有価証券の売却により、営業利益314百万円を計上



2022年12月期 第2四半期 ハイライト

ソーシャルメディアサービス事業

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSを活用したマーケティングやプロモーションは引き続き市況が活性化しており、またインフラ保守・受託開発事業についても安定的な受注確保が想定されることから、売上高については、10%程度の増加を見込んでおります。

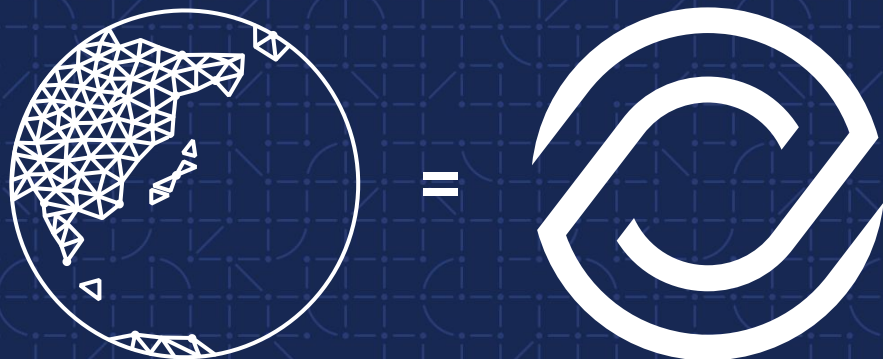
インキュベーション事業および連結グループ

インキュベーション事業においては、引き続き新規サービスの発掘・拡販に注力してまいります。新規サービス並びに保有する株式の価値については、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予測が極めて困難な状況であります。そのため、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただいております。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、今後の業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。影響が判明した際は速やかに開示いたします。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針



GAIA X IS A RESPONSIBILITY-DRIVEN COMMUNITY THAT EMPOWERS PEOPLE TO CONNECT

ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



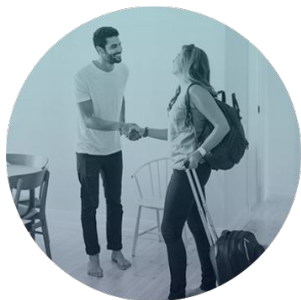
大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



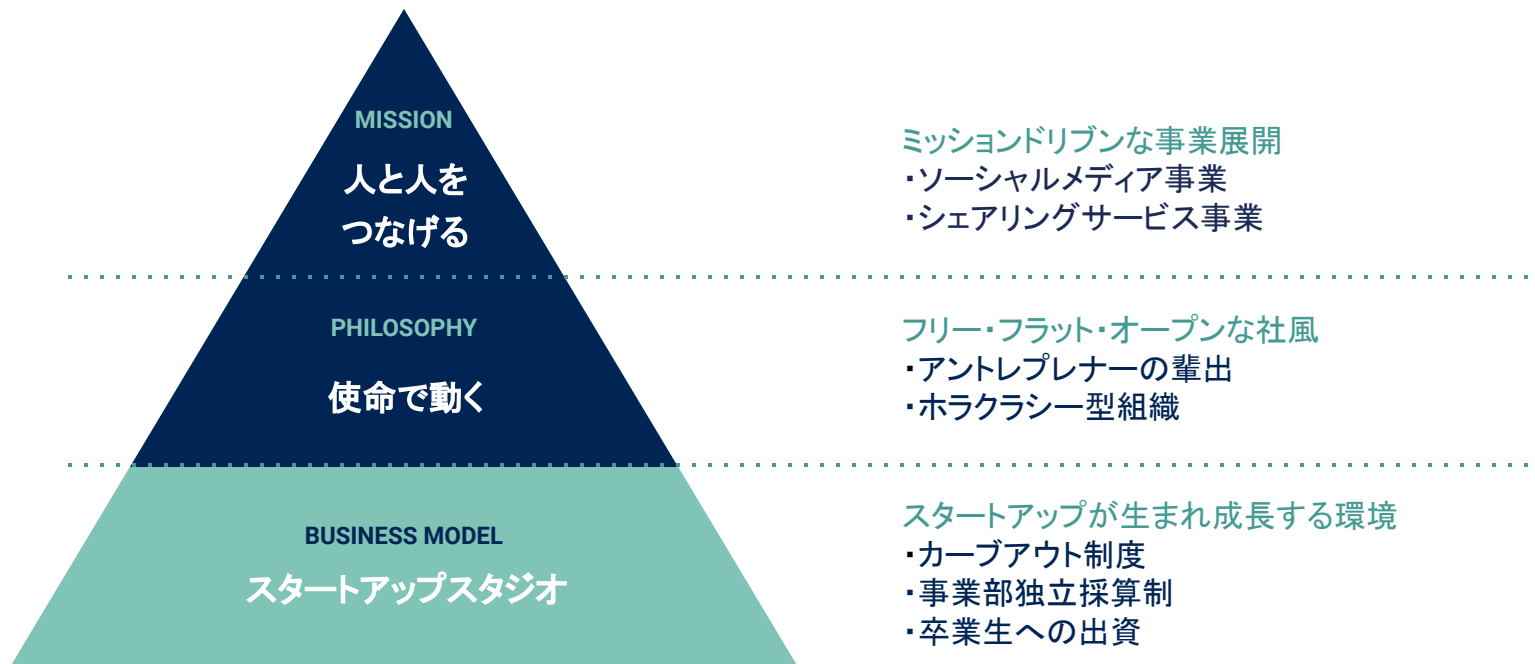
資源の再分配



コミュニティの創生

シェアリングエコノミーで持続可能な社会を作る

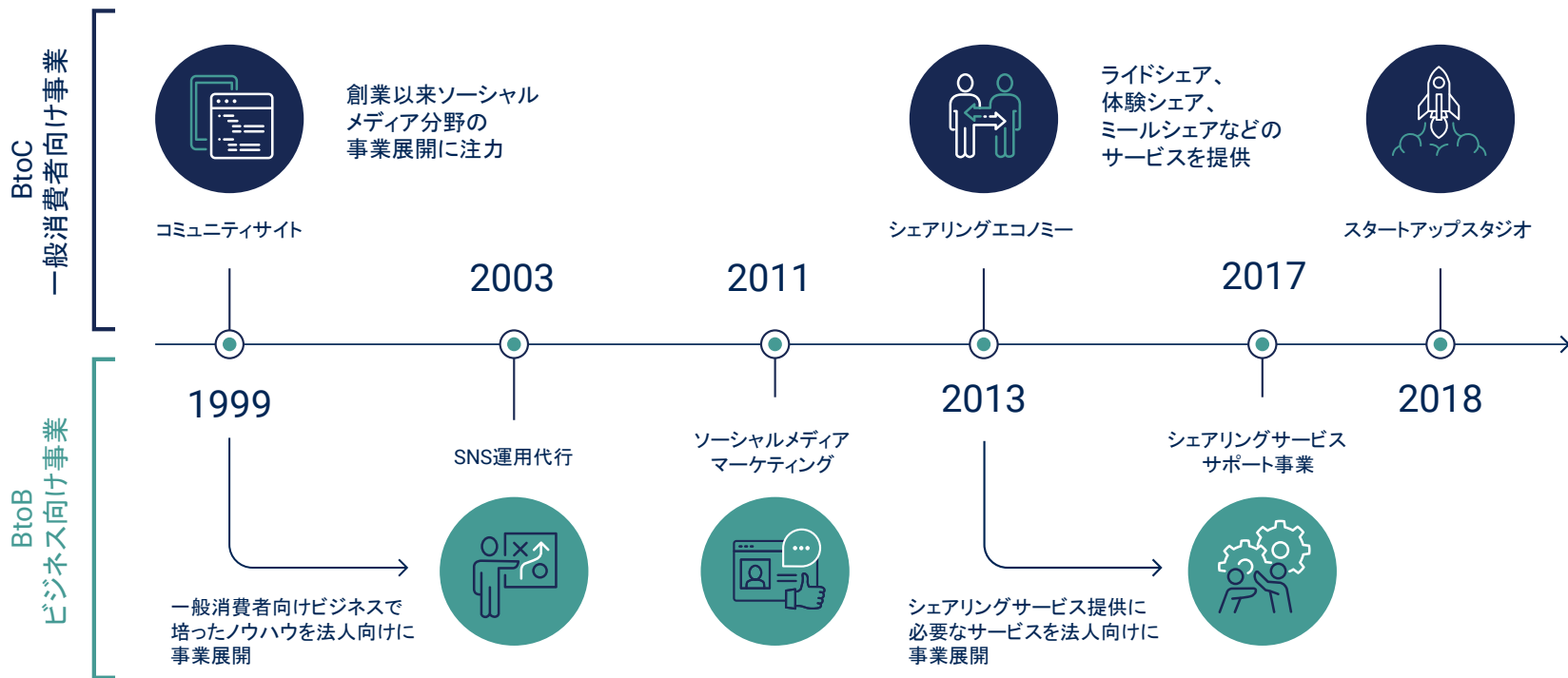
価値観と戦略



ミッション達成のための2つの戦略



創業時より「人と人をつなげる」事業に注力



ミッション達成のための2つの戦略



創業以来、事業・起業家の輩出に注力

経営者視点を育む企業風土

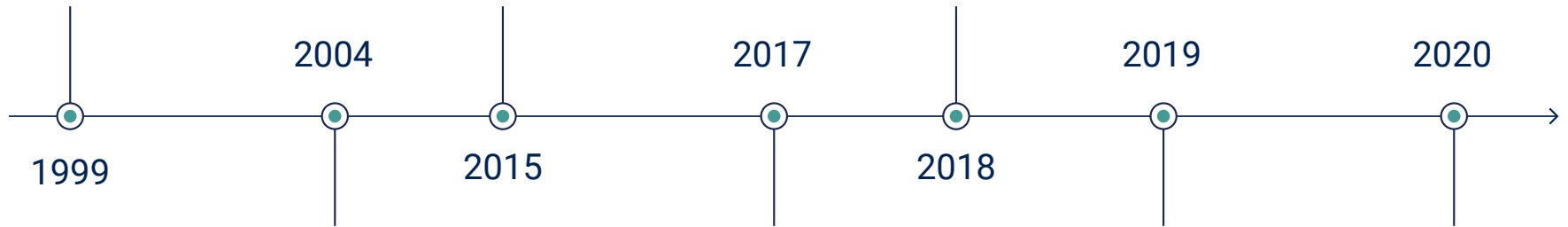
- ・独立採算制度
- ・マイルストーンセッション
- ・フリー・フラット・オープンな社風

当社出資先の株主上場カーブアウト制度の整備

- ・当社卒業、当社出資先ピクスタ株式会社が株式上場
- ・当社よりカーブアウト、当社出資先 AppBank株式会社が株式上場
- ・当社卒業生が創業したスマートロック「Akerun」を提供するIoTベンチャーの株式会社などへの出資

スタートアップスタジオプログラムを開始

- ・アディッシュ株式会社は上場を目指しエクイティファイナンスを実施。
- ・当社社員創業の多拠点居住サービス「ADDress」事業への出資を実施。株式会社は10億円の外部資本調達を実施
- ・スタートアップスタジオの起業支援プログラムをスタートし、プログラミング学習教材ポータル株式会社テックビットや、タレントからサプライズビデオメッセージを届ける株式会社オクリーが誕生



経営者予備軍を集めるインターンや新卒採用

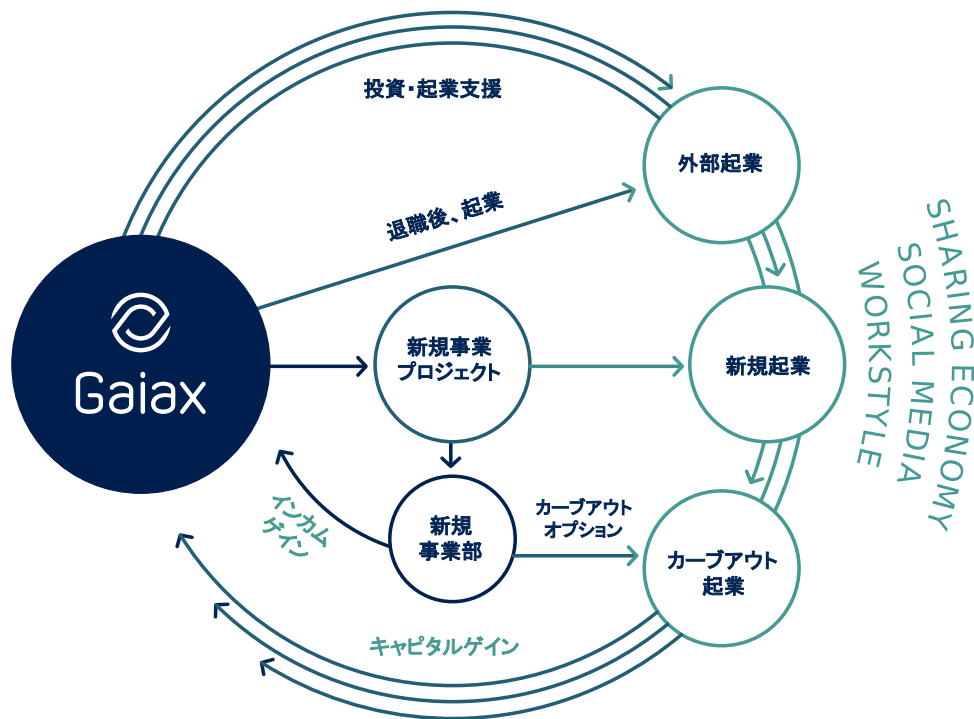
- ・「就職活動後の人気企業ランキング 45位」(AERA 2004年)
- ・新卒入社卒業生 7割が起業 (2015年調べ)

社内SNS領域のAiry事業がカーブアウトし、EDGE株式会社設立

株式会社 TRUSTDOCKはカーブアウトし、外部資本調達を実施

アディッシュ株式会社が東証マザーズに上場

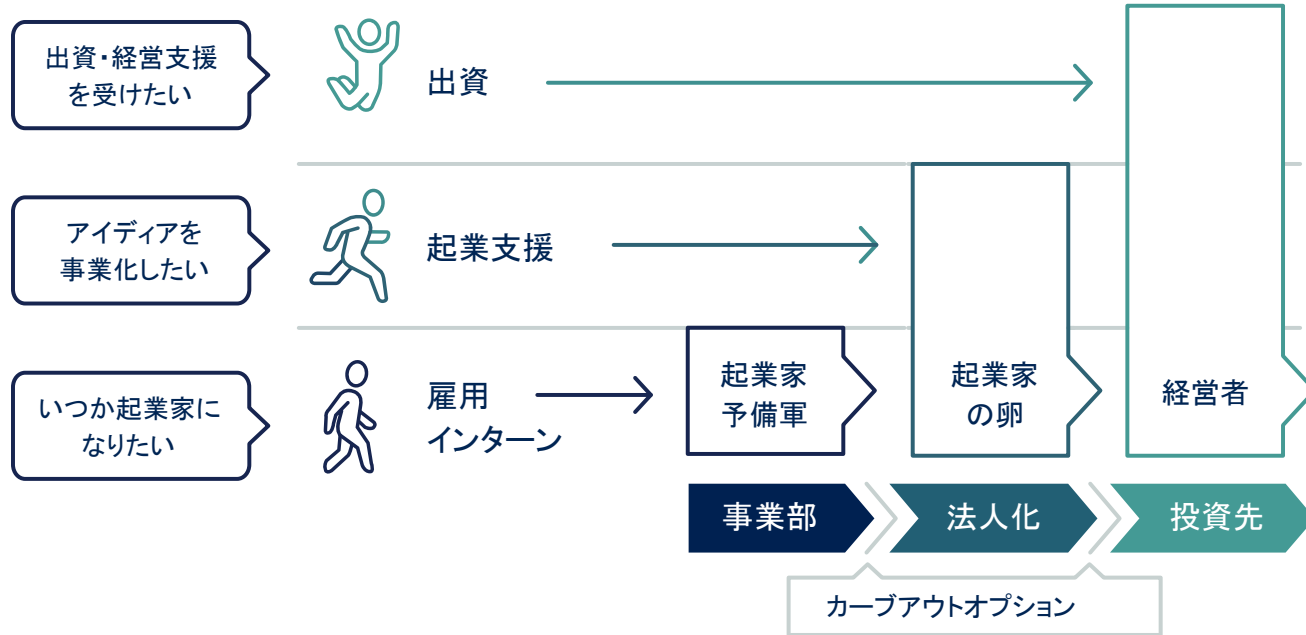
ガイアックスの事業成長戦略



独自のカーブアウトオプション制度を主軸に、
継続して起業家を輩出キャピタルゲインを
再投資するスタートアップスタジオ

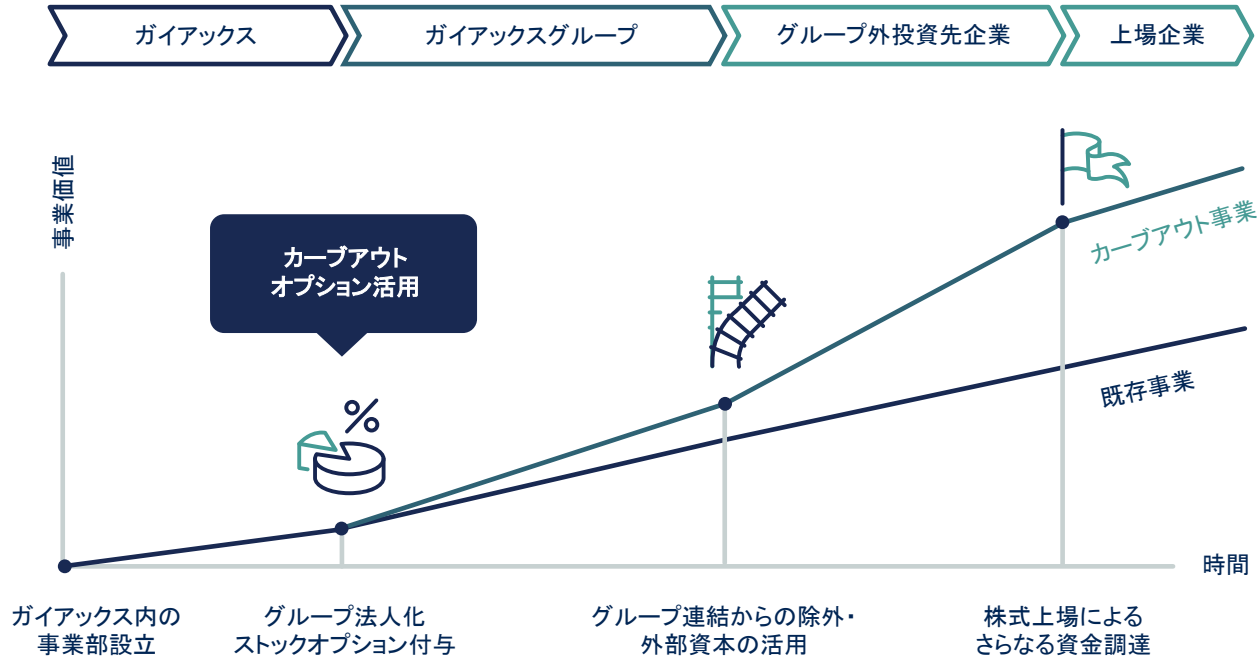
ガイアックスの事業成長戦略

直接投資や、雇用を経ての独立など多様な起業スタイルによって起業家輩出を加速



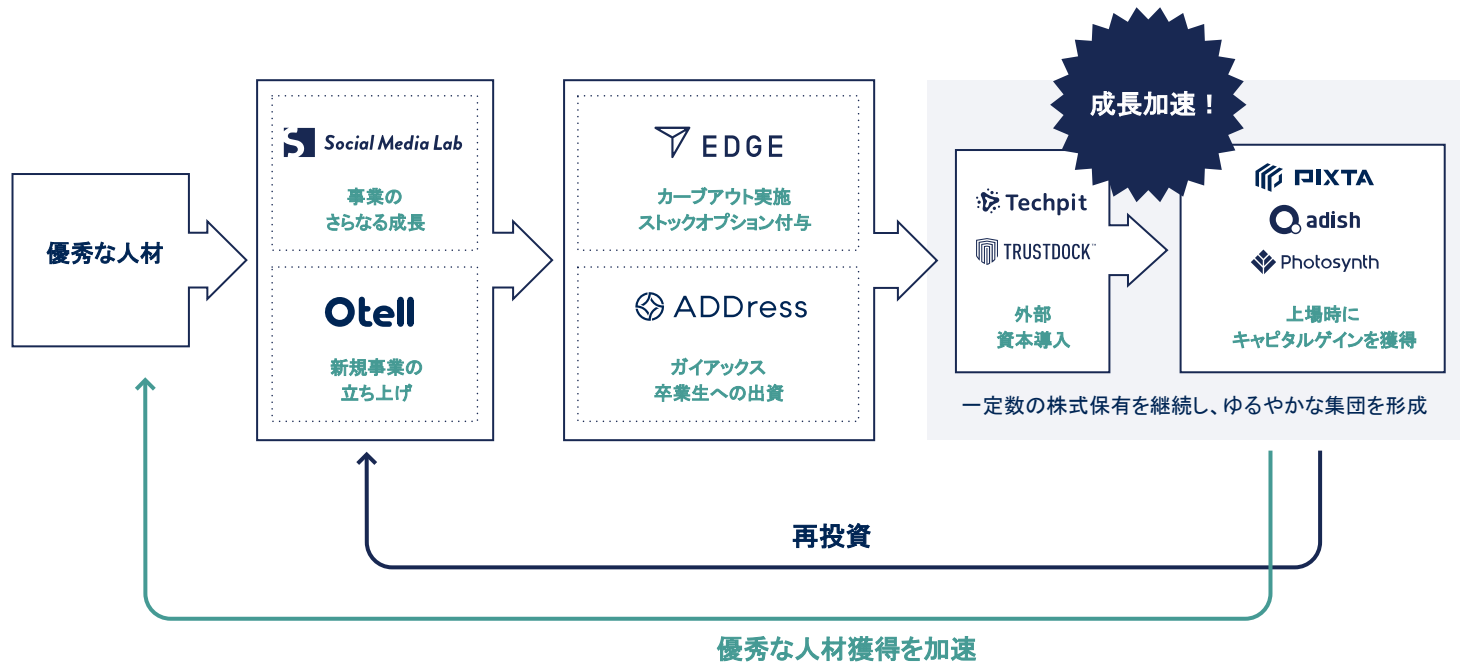
ガイアックスの事業成長戦略

事業カーブアウトおよび外部資本活用による事業成長に注力



事業戦略 スタートアップスタジオ

各事業部へのオーナーシップを付与、また当社卒業生への出資によるスピード経営を実現



カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



法人設立を支援し、シード期に出資した株式会社Photosynthが株式公開

2014年、ガイアックスメンバー3名が卒業し、計6名での創業から7年で上場



趣味で始めたAkerunのプロジェクトが一般紙に取り上げられ起業へ

2014年9月 五反田のマンションの1室で、6名で起業。

2016年7月 世界初のNFCで鍵が開くスマートロック「Akerun Pro」を発表。

2019年5月 既設の電気錠や自動ドアを直接制御「Akerunコントローラー」を発表。

2021年6月 Akerun Pro(アケルン プロ)の次世代ハードウェアを発表。

2021年11月 東証マザーズへ上場

会社名 株式会社 Photosynth

ミッション “つながるモノづくりで感動体験を未来に組み込む”

代表取締役社長 河瀬 航大

従業員 168名(2021年12月末時点、役員を除く)

所在地 〒108-0014 東京都品川区西五反田東京都港区芝 5-29-11
G-BASE田町15階

事業内容 1. IoT関連機器の研究開発
2. 「Akerun入退室管理システム」の開発・提供

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針

その中でも、主要事業である
SNS運用代行、マーケティング支援の新しい局面

SNSが企業ブランディングのタッチポイント
フォロワーを増やすだけでなく、効果を得たい

統合型マーケティングを提供

- ・SNS以外も含めた効果測定をデータ解析チーム
- ・リッチコンテンツ・クリエイティブ提供のための専門組織

顧客単価上昇と顧客増を通じ、SNSマーケティング支援は年率 15%成長

インキュベーション事業の課題と方針

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

ネクストステージ

時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%
この実現を目指しての積極投資

インキュベーション事業の方針

今後も引き続き、確度の高い**社内・卒業生投資**に比重



創業時出資で、持ち株比率がとれ、
弊社が投資先の人材見極めが十分できる企業への投資に重点

インキュベーション事業の方針

インキュベーション事業 社内投資



新規事業(連結内)

- ・体験シェアサービス
- ・シェアオフィス事業
- ・オンライン配信
- ・クラウドキッチン事業など

GriD

KITCHEN WAVE

aini

Otell

LOCOTABI

comlive

インキュベーション事業 社外投資



投資先企業

カープアウト

adish

TRUSTDOCK

EDGE

スタートアップスタ
ジオ起業

Techpit

シェアグリ

FEMMA

卒業生起業

PIXTA

Photosynth

ADDRESS

投資支援

Timee

巻組

unito

起業家人材の採用

- ・高確率で優秀層が採用できる新卒採用への注力
- ・起業家輩出企業としてのブランディング

創業前期からの事業開発の伴走

- ・中高大学生含む若年層向けの起業家育成
- ・バックオフィス、エンジニアリング含めた支援

若年層の起業家予備軍の採用と投資

インキュベーション事業の方針

若年層の起業家予備軍層へのリーチと採用

起業部、起業ゼミ、スタートアップスタジオ協会、SNSなどを通じて接触



なお、これらの取り組みは、シード期での接触や出資、
ガイアックスの採用のみならず、人材紹介事業においてもシナジーが高い

インキュベーション事業のおかれた環境

日本政府、経団連ともに、スタートアップに注力
今後5年で起業数、投資額は10倍に

岸田内閣



2022年を「スタートアップ創出元年」とし、
起業、投資額を5年で10倍にする
(2022年6月)
「スタートアップ担当大臣」を新設
(2022年8月)

2027年までに起業数とレベルを10倍にする
「スタートアップ躍進ビジョン
～10X10Xを目指して～」を発表
(2022年3月)

経済産業省事業の客員起業家(EIR)活用実証事業者に採択。起業家輩出を推進

ガイアックスは、客員起業家(EIR)の活用に係る実証事業の事業者に採択
(2022年7月29日)



”起業準備を行う者や、新規事業の開発等に関する知見を有する者等を、「客員起業家(EIR: Entrepreneur in Residence)」として一定期間以上雇用・委託等を行うことを通じて、新規事業の開発や新たな協業の創出に取り組む企業について、各企業の取組を支援しつつ、先端事例として取り上げることで、我が国における客員起業家のより一層の活用を図り、起業の増加及びオープンイノベーションの促進を図る。”

(出典: 経済産業省 令和3年度補正「新たな学び直し・キャリアパス促進事業(客員起業家活用企業等実証支援委託事業)」)

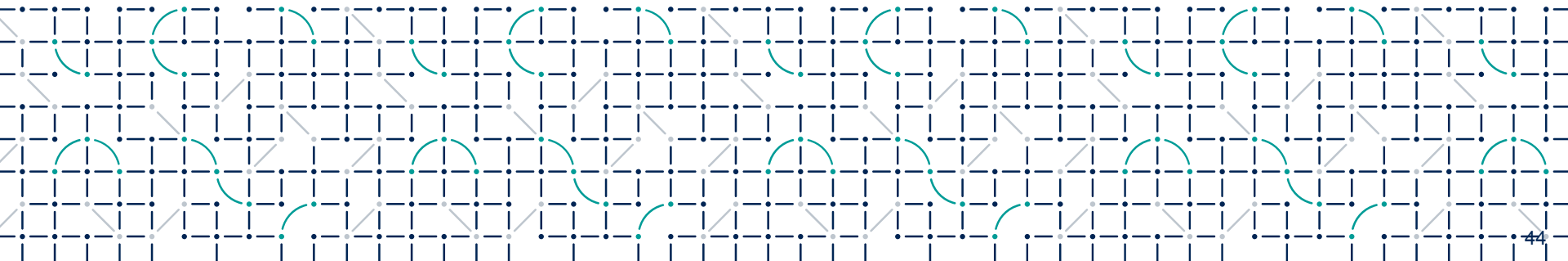
注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX

FINANCIAL RESULTS FOR THE SECOND QUARTER 2022



会社概要

2022年6月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd.	従業員数	130名 (連結・正社員)
企業理念	ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。	事業内容	・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	上場市場	名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,147,752株
資本金	100百万円	株主数	2,324名 (2021年12月末時点)
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRiD	決算	12月

ソーシャルメディアサービス事業の構成

ソーシャルメディア領域



GENIC LAB

ベータ+α広報



Webマーケティング支援領域

MARKE!T



ワークスタイル支援領域



command+N

インキュベーション事業の構成

グループ内
インキュベーション事業



グループ外
当社の卒業生が創業・経営企業への投資



グループ外
シェアリングエコノミー企業等への投資

※掲載の投資先は一部です。



インキュベーション事業 現在のパイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリューアップ

グループ内

Otell

ホテルワーク

comlive

オンラインイベント配信

GENIC LAB

インフルエンサーDB

aini

体験のシェア

LOCOTABI

地域体験のシェア

KITCHEN WAVE

クラウドキッチン

CO-NECT

Web受発注システム

TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

SHARE CYCLE

シェアサイクル

SPACEE

会議室シェア

Techpit

プログラミング教材

テレスペ

ワークスペースシェア

Runtrip

ランニングシェア

NO KAKI BUSINESS

スペースシェア

anyCarry

シェア型のデリバリー

OTERA STAY

寺社民泊体験

MIDORI.s o

シェアオフィス

つなげと

体験シェアアプリ

SAIRU

マーケティング支援

DogHuggy

ペット版民泊

nutte

縫製マッチング

nesto

オンライン教室

巻組

空き家活用シェアハウス

ADDRESS

住み放題シェアハウス

unito

サブスク住居

Timee

ワークシェアアプリ

Homii

ホームステイマッチング

百戦錬磨

地域民泊

EDGE

社内SNS・働き方支援

acrorea

クラウド型の業務管理

グループ外

Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

adish

2020年3月 東証マザーズ上場

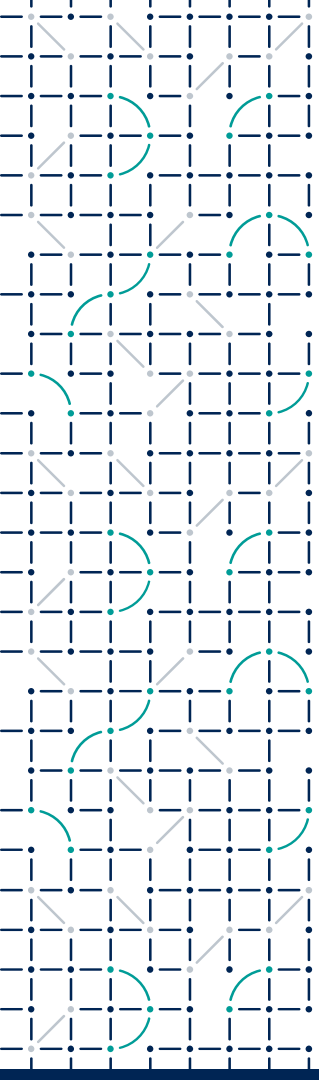
APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

FIXTA

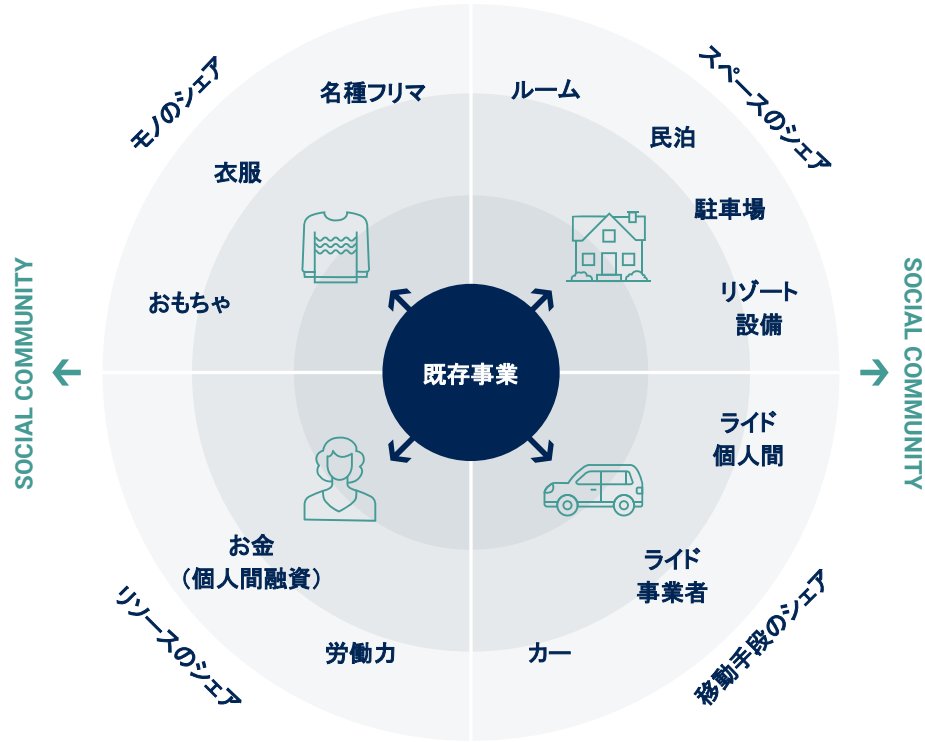
2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー市場への取り組み

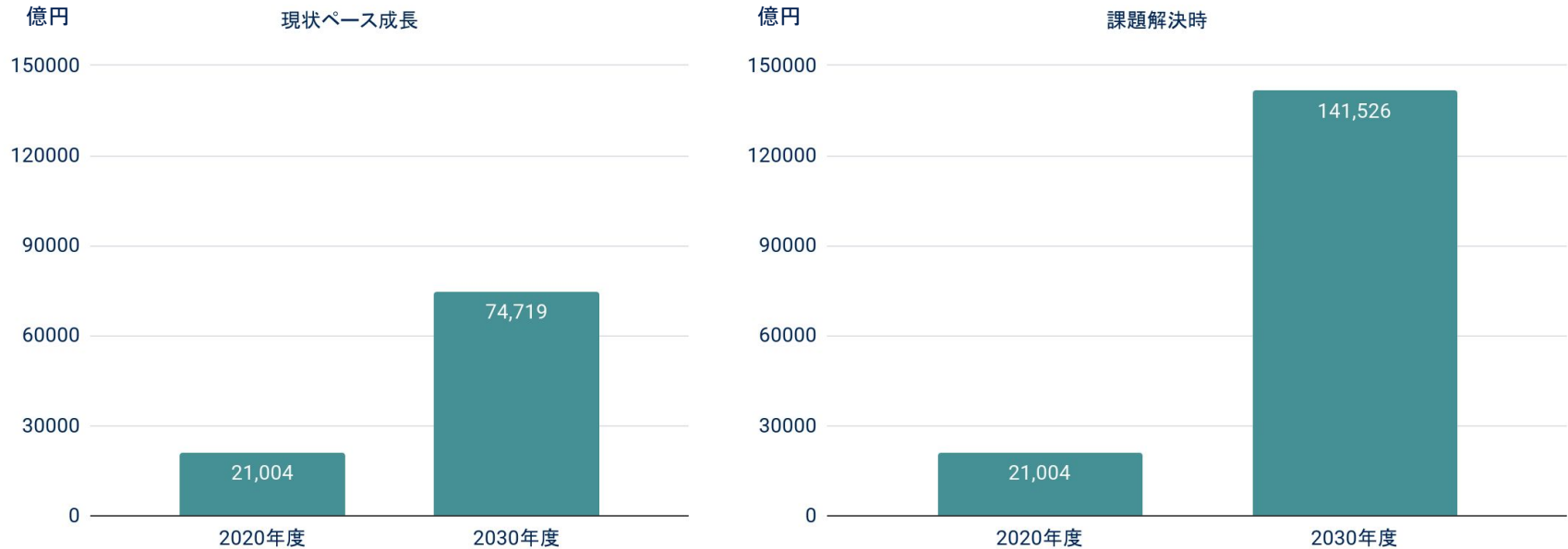
拡大するシェアリングエコノミー領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

起業を志向するZ世代



53%

アメリカではZ世代の53%が10年以内に自分の
ビジネスを立ち上げたいとの調査結果日本の
Z世代においてもスタートアップへの関心に高まり

※出典: [FastCompany](#)